



# 自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

## 共愛学園前橋国際大学で防衛講話

### ～地元・群馬から世界の海へ

## 海上自衛隊第2航空群司令が学生へ届けたメッセージ～

前橋募集案内所長 土屋 章



防衛講話の様子



西館教授、赤岩海将補、  
上野本部長との懇談

自衛隊群馬地方協力本部（本部長 防衛事務官上野和人）は、令和7年11月25日（火）、私立共愛学園前橋国際大学において開催された防衛講話を支援しました。

講師として招かれたのは、群馬県出身で海上自衛隊第2航空群司令の赤岩英明 海将補です。講話に先立ち、今回の講話を企画した国際社会学部の西館教授から大学の教育理念や特徴、参加学生の専攻・学習状況について説明を受けました。その後、教授と赤岩群司令及び上野本部長との間で意見交換が行われました。また、同大学から海上自衛隊幹部候補曹で入隊予定者である学生1名に對して激励を行いました。

約1時間の講話を学生27名が聴講し、近年の国際情勢、日本周辺海域の安全保障の変化、海上自衛隊の任務、航空部隊の役割について、専門的な内容を学生にも分かり易く説明されました。また、実任務での体験や国際共同訓練、災害派遣の現場などを時折ユーモアを交えながら紹介。緊張感ある任務と人間味あるエピソードが交互に語られ、会場は終始、真剣さと温かさが同居した雰囲気にも包まれていました。

後半の20分は、活発な質疑応答が展開され「自衛官を志した理由」「緊張感ある任務の中で命の危険を感じたことはありますか。」「任務・仕事をしている上で意識していることはありますか。」など多様な質問がよせられました。講師は学生の関心の高さに触れながら、若い世代の率直な質問に對して一つひとつ丁寧に答えました。

参加した学生からは「群馬には海がないため意識を向けてなかったが海の役割などが学べて良かった。」「自衛隊や海上保安庁は、目に見えないところでも最前線で日本を守ってくれていることを知り、本当に素晴らしい仕事だと思いました。」「海上自衛隊にとって海を守ることは国を守るのだという考えは、かっこいいと思いました。」といった声が聞かれました。

講話を企画した教授からは「群馬出身で第一線において活躍している方のお話は学生に取って大きな学びになりました。安全保障を身近なテーマとして考える良い機会になったと思います。」とし、今後も「講師を招いて防衛講話を継続していく方針」と話されていました。

群馬地方協力本部は引き続き各学校と連携し、自衛隊の任務及び自衛官という職業やその使命への理解を深めてもらう機会を広げていきます。



海上自衛隊一般幹部候補  
曹入隊予定者を激励



質疑応答